

# 製造業の景況感が弱含む一方で、 サービス業の景況感は底堅く推 移



## 米国経済

- 製造業の景況感は弱い動きが続いている。25年11月のISM（米供給管理協会）製造業景況指数は48.2と前月（48.7）から低下し、節目の50を9か月連続で下回った。一方、サービス業の景況感は底堅く推移。11月のISM非製造業景況指数は52.6と前月（52.4）から小幅に上昇した。
- 労働市場は弱含みで推移。米民間雇用サービス会社ADPが発表した11月の全米雇用リポートによると、民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少した。
- 11月下旬にFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次いだこともあり、金融市場では12月のFOMCでの0.25%利下げをほぼ織り込んでいる。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客様ご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。



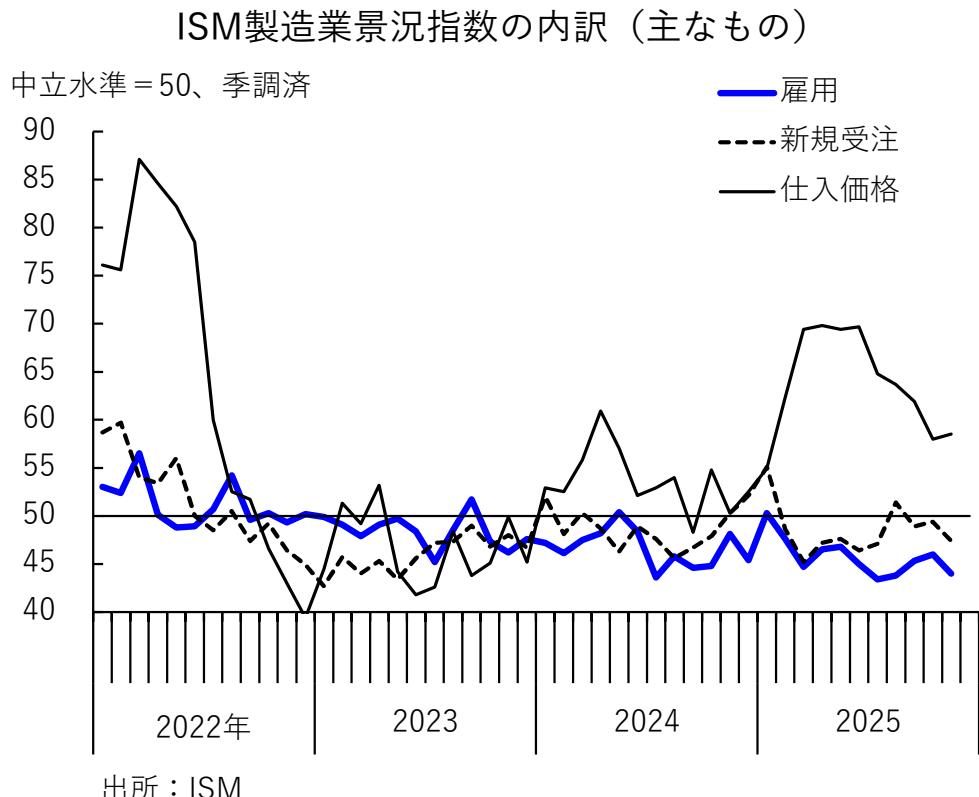
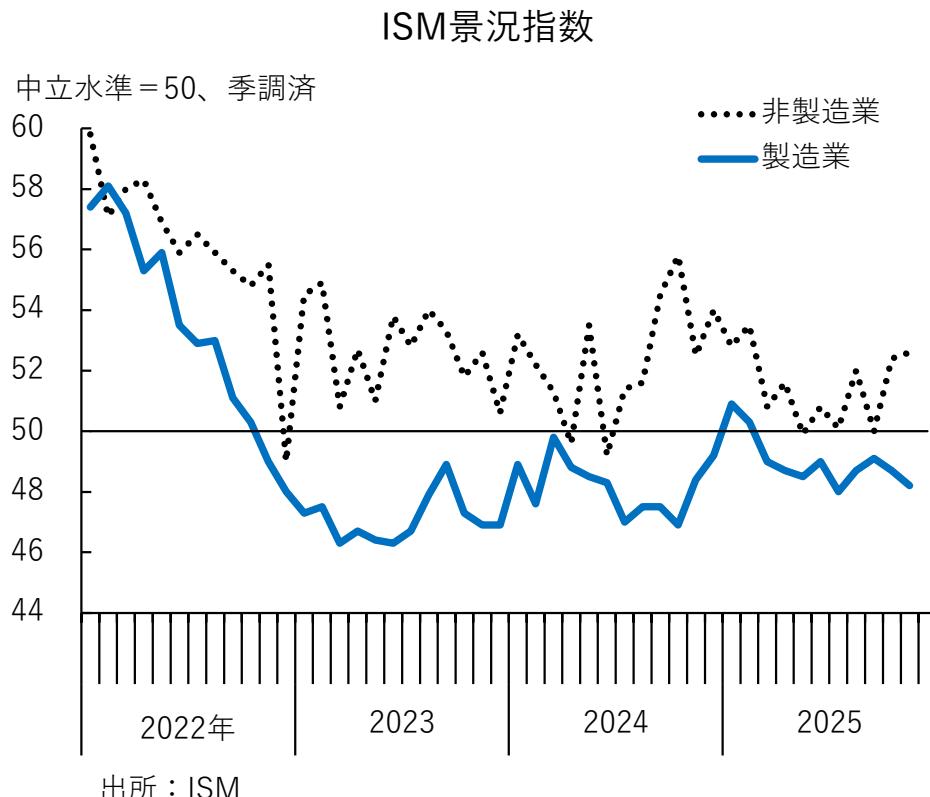
浜銀総合研究所

横浜銀行グループ

# 11月のISM製造業景況指数 は9か月連続で節目の50割れ



- 製造業の景況感は弱い動きが続いている。25年11月のISM（米供給管理協会）製造業景況指数は48.2と前月（48.7）から低下し、好不調の分かれ目となる50を9か月連続で下回った。
  - 個別の指数をみると、仕入価格が58.5と前月（58.0）から小幅に上昇した。一方、雇用は44.0（前月は46.0）と再び低下。新規受注も47.4（前月は49.4）と再び低下した。
- サービス業の景況感は底堅く推移。11月のISM非製造業景況指数は52.6（前月は52.4）と小幅に上昇した。
  - 個別の指数をみると、仕入価格が65.4と前月（70.0）から低下し、インフレ圧力が和らいでいることを示唆した。一方、雇用は48.9と前月（48.2）から上昇したものの、依然として節目の50を下回った。

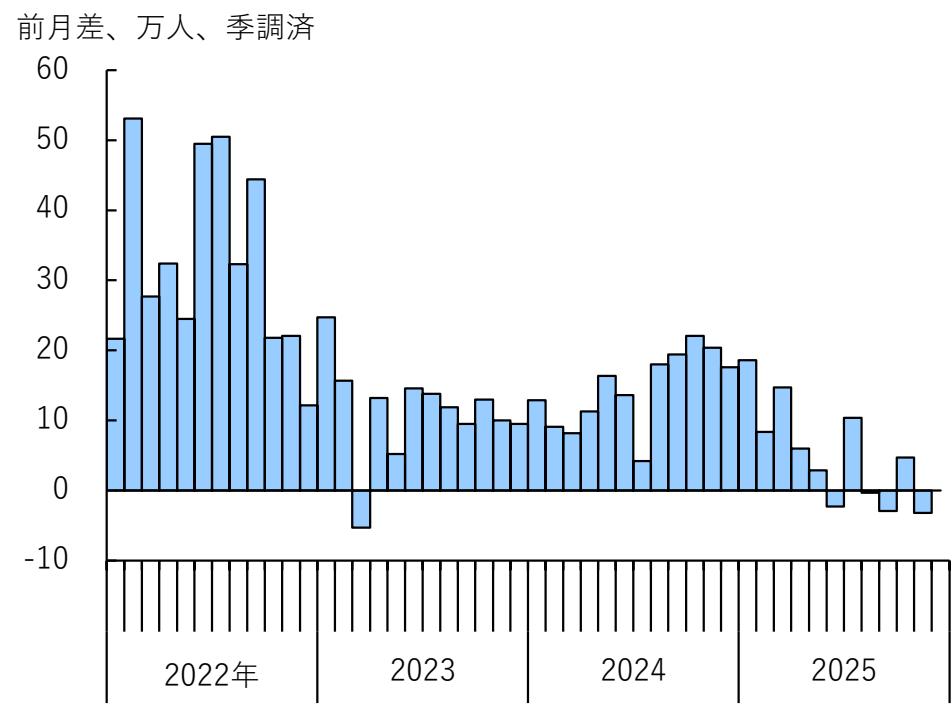


# 11月のADP民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少



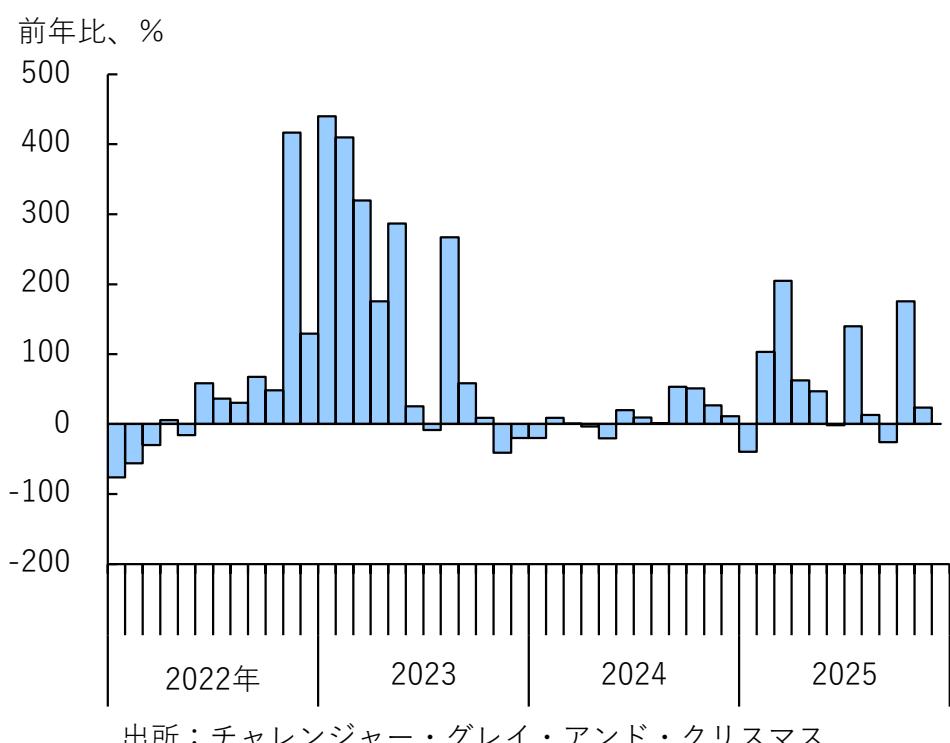
- 労働市場は弱含みで推移。米民間雇用サービス会社ADPが発表した25年11月の全米雇用リポートによると、民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少した。
- 一方、米民間再就職支援会社チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマスのデータによれば、11月に発表された人員削減数は前年比+23.5%の7万1,321人となった。11月としては2022年以来の高水準。

ADP民間雇用者数



出所：ADP全米雇用リポート

人員削減数

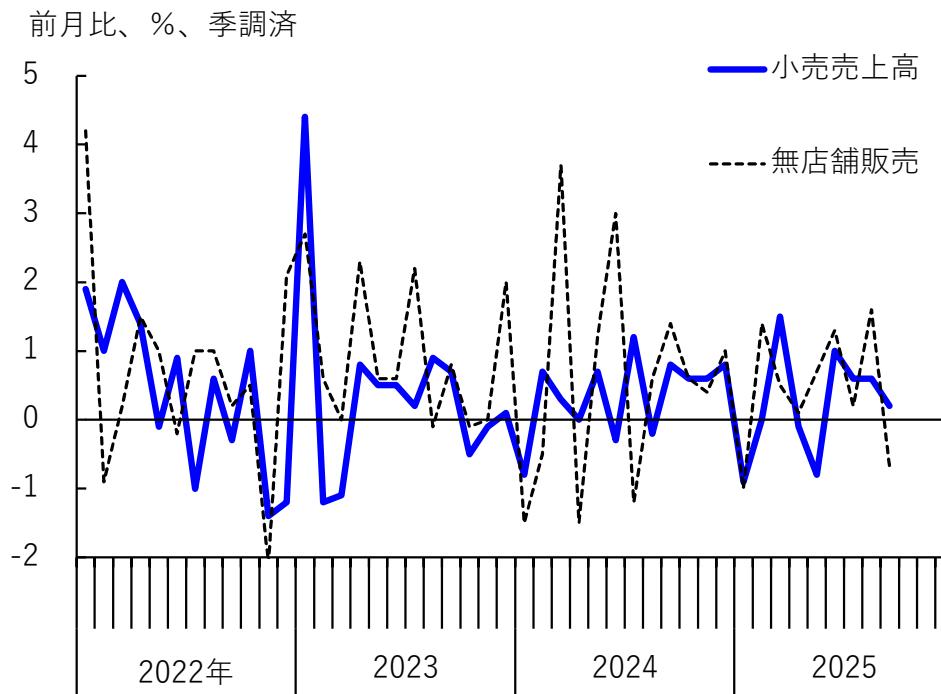


出所：チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス



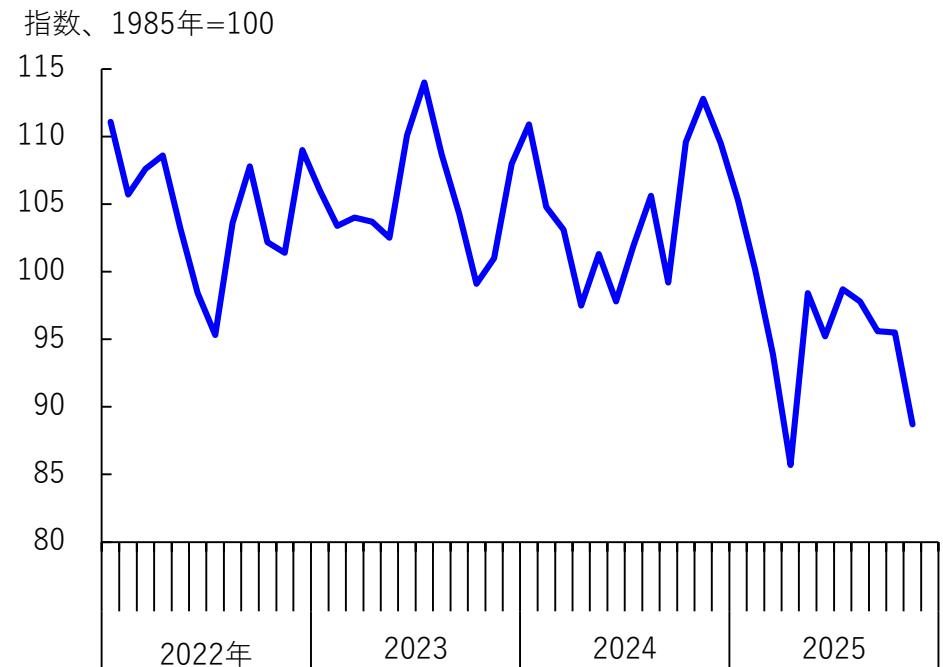
- 25年9月の小売売上高は前月比+0.2%と、前月（同+0.6%）に比べて伸びが鈍化した。
  - －業種別にみると、ガソリンスタンドはガソリン価格の上昇もあり、前月比+2.0%と増加した。またフードサービスは同+0.7%と4か月連続で増加。一方、自動車・同部品は同-0.3%と4か月ぶりに減少した。
- 消費者のマインドには慎重さがうかがえる。11月の消費者信頼感指数は88.7（前月は95.5）と4か月連続で低下し、4月以来の低水準となった。内訳をみると、現況指数が低下に転じるとともに、今後6か月の見通しを示す期待指数も4か月連続で低下した。

小売売上高



出所：米商務省

消費者信頼感指数

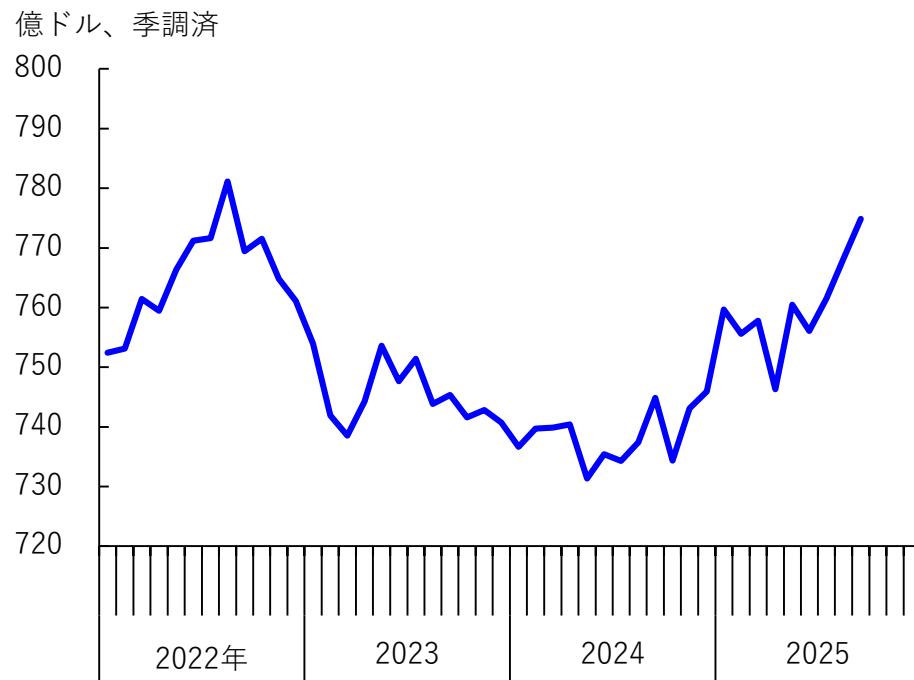


出所：コンファレンスボード



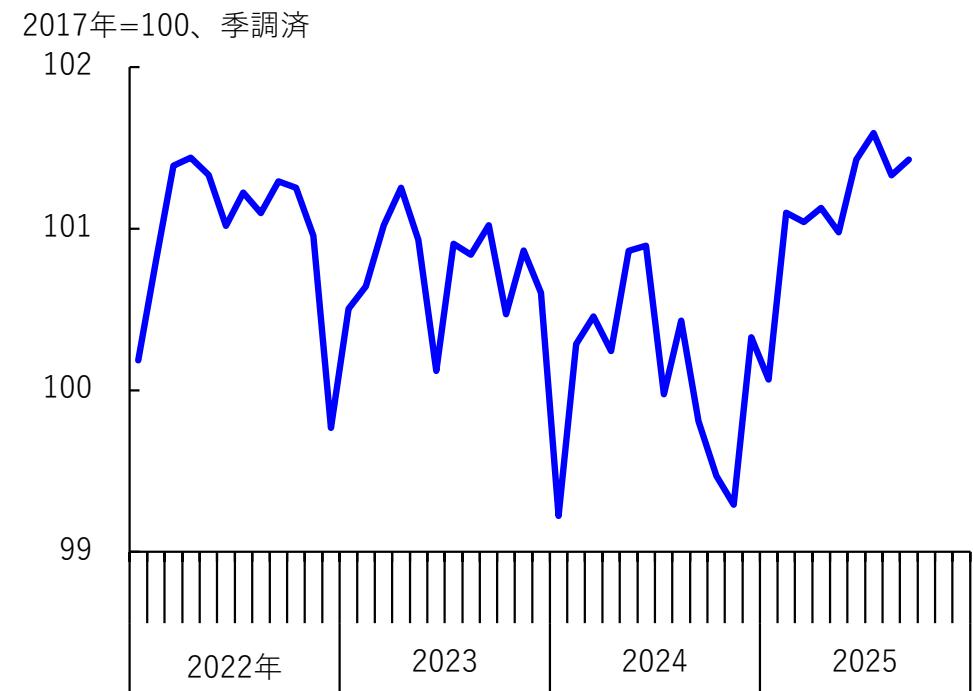
- 設備投資の先行指標となるコア資本財受注（航空機を除く非国防）は25年9月に前月比+0.9%と3か月連続で増加した。
- 企業の生産活動は一進一退。9月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%と小幅に上昇した。
  - 業種別には、製造業の生産指数が前月比+0.0%と横ばい。電力などの公益事業の生産指数は同+1.1%（8月は同-3.0%）と上昇に転じた。

コア資本財受注（航空機を除く非国防）



出所：米商務省

鉱工業生産指数

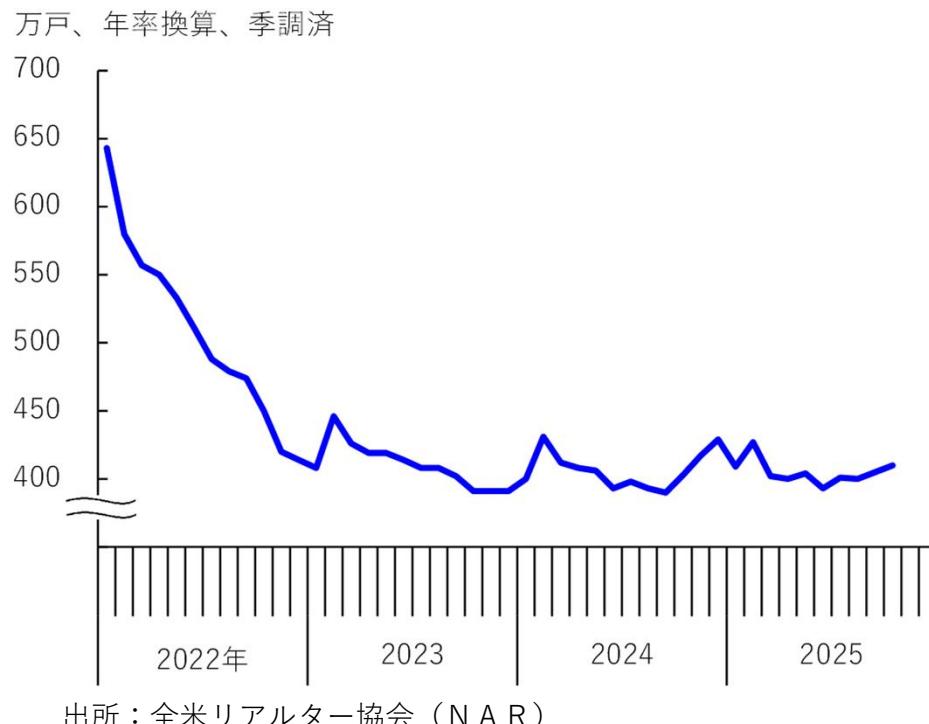


出所：F R B

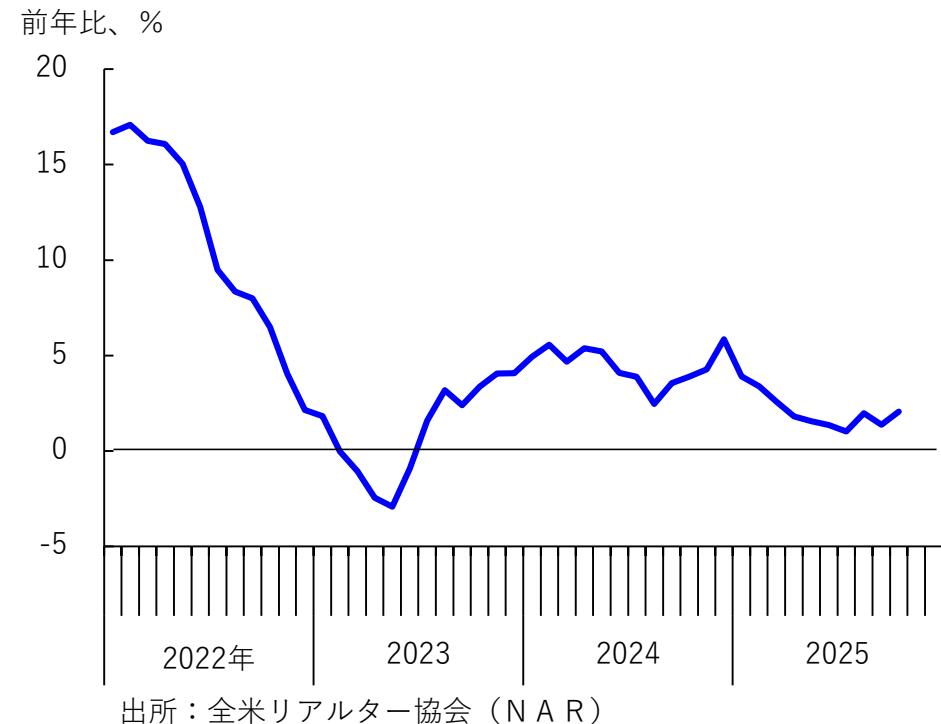
10月の中古住宅販売件数は2月  
以来の高水準

- 25年10月の中古住宅販売件数（年率換算）は410万戸（前月比+1.2%）と2か月連続で増加し、2月以来の高さとなった。住宅ローン金利の低下が住宅需要の押し上げにつながったとみられる。
  - 地域別には、西部（前月比-1.3%）で減少したものの、中西部（同+5.3%）と南部（同+0.5%）で増加した。北東部（同+0.0%）は前月から横ばい。
- 一方、10月の中古住宅の販売価格（中央値）は前年比2.1%上昇し、41.52万ドルとなった。

中古住宅販売件数

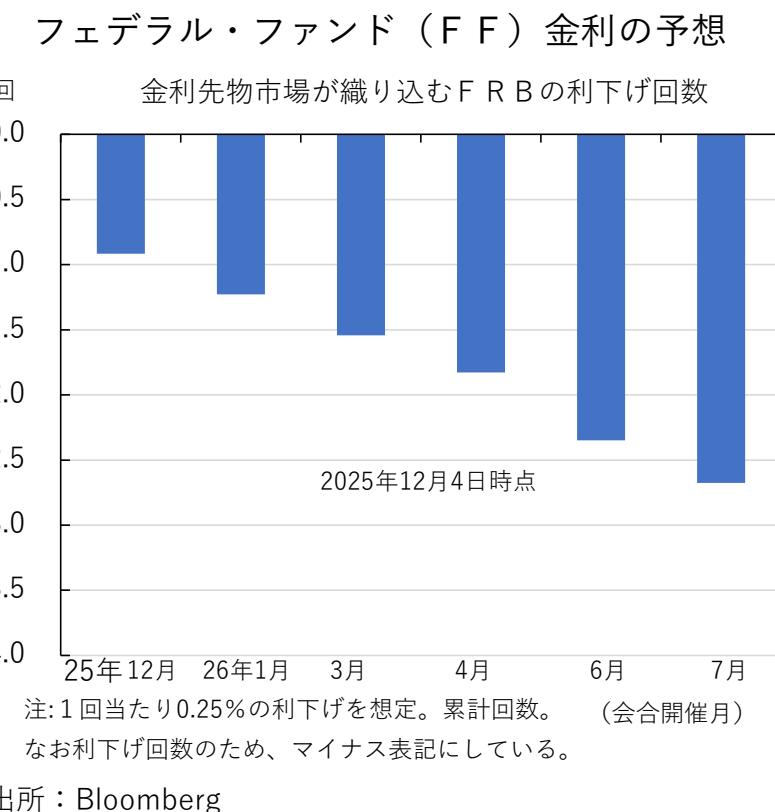
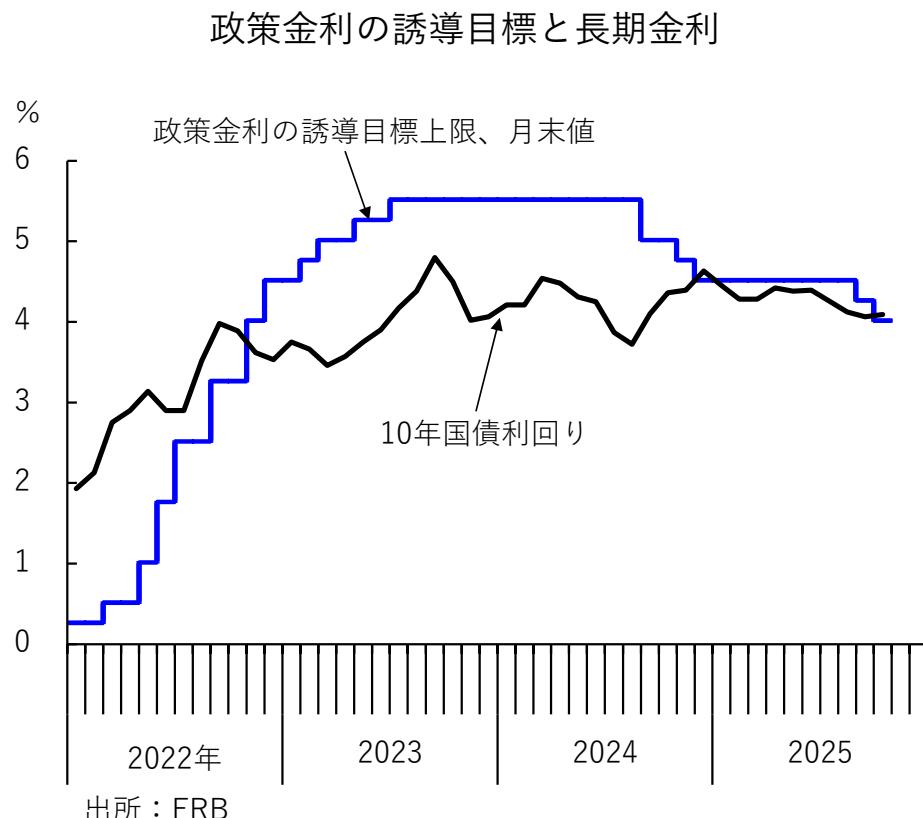


中古住宅販売価格





- 25年11月の米10年国債利回り（月平均）は4.09%と10月（4.06%）に比べて若干上昇した。
  - 中旬にはFRB（米連邦準備理事会）高官から政策金利の据え置きを示唆する発言が相次いだことなどから、10年国債利回りが4.15%程度まで上昇した。しかし下旬になるとFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次ぎ、10年国債利回りは一時4%を下回る場面もあった。
- 11月下旬にFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次いだこともあり、政策金利であるFF金利の先物市場では、12月9日～10日のFOMC（米公開市場委員会）で0.25%の利下げが実施される可能性をほぼ織り込んでいる。





横浜銀行グループ

## 浜銀総合研究所



調査部 特任研究員  
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 [https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry\\_repo.html?nno=5](https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5)